

対 象 低～高学年向け	調べる時期 7・8月	かかる日数 14～20日
----------------	---------------	-----------------

小さな魚のエサを観察してみよう

稚魚の飼育に必要な生物であるアルテミア（エビの仲間）を飼育し、観察してみよう

1 準備するもの

- ・乾燥したアルテミアの卵（近くのホームセンターやアクアリウムショップに行けば入手が可能であると思いますが、ネット通販でも購入可能）
- ・水槽（専用の飼育キットも販売されていますが、100～200mLの海水が入るきれいに洗った水槽やペットボトルでも可能）
- ・海水（海水もしくは水道水を水槽に入れ1～2日間放置後、食塩を2～3%溶かした水）
- ・アルテミアのエサ（金魚のエサを細かく砕いたもの）
- ・温度計（気温や水温の測定用）
- ・スポイド、コップなど（水の交換用）

2 手順

- ①卵を海水に入れる。100mL くらいの小さな容器で飼育する場合には、箸の先を湿らせて卵を吸着するようにして海水の中に入れます。飼育する容器の大きさにもよりますが、卵の入れすぎには注意しましょう。
- ②水槽は涼しい部屋の日陰に置き、水温は最低でも 20℃以上に保てる場所で育てることが必要です。
- ③飼育水槽の海水を2～3日毎に半分程度を交換します。飼育水が濁った場合も半分程度を交換して下さい。スポイドやコップなどを使い、アルテミアを流さないよう注意して下さい。
- ④約1日で卵からふ化し、ふ化後5日目頃からエサを与え始め、14～20日でエビのような姿になるまで飼育できれば成功です。

3 調べたいこと

- ・アルテミアの大きさや形を調べ、稚魚の口の大きさとの関係を調べる。
- ・観察記録を作ってみる。

4 探求のヒント

- ・毎日観察し、アルテミアの形、大きさ、動き方の違いを記録しよう。
- ・光や水温の刺激に対する動き方の変化を観察しよう。

5 注意事項

- ・事前にインターネットなどを利用して、飼育方法を勉強しておこう。
- ・エサは与えすぎると水質が悪くなるので、与え過ぎに注意して下さい。
- ・水温は 40℃以上にはしないで下さい。

対 象 低～高学年向け	調べる時期 7・8月	かかる日数 14～20日
----------------	---------------	-----------------

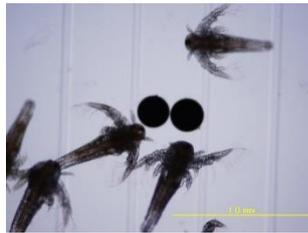
6 まとめ方

- ・形が変化した日数についてまとめてみよう。
- ・光や水温に対する刺激にどのように反応するかまとめてみよう。
- ・金魚やメダカを飼育していれば、食べるかどうか与えてみよう。
- ・毎日写真をとるとアルテミアの変化が分かりやすく、観察日記にも利用できます。

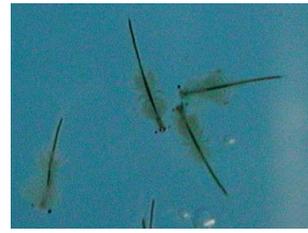
7 参考資料／見本（番号は手順の番号を示す）



①



②



③



④